

インドネシア

南西アーケ北伸部道路建設事業



本事業により建設された道路

[借款概要]

承諾額/実行額	10,902百万円 / 7,038百万円
借款契約調印	1994年11月
借款契約条件	金利2.6%、返済30年（据置10年）
貸付完了	1999年12月

[事業概要]

ジャカルタ首都圏の道路網において渋滞の原因となっている南西アーケ有料道路、国際空港アクセス道路及びハーバー・ロードを接続する有料道路を建設することにより、市内から空港へのアクセスを改善するとともに、有料道路網全体の高度利用を図るもの。

[評価結果]

本事業は、有料道路(3.5km、6車線)、インターチェンジ2カ所、料金所2カ所及び側道等の建設からなり、工事は1994年から96年に実施された。

南西アーケ道路及びその北伸部の交通量は1993年の約32万台/日に対し、完成後の2001年には約50万台/日へと大きく増加した。また、本事業を通じ、ジャカルタ首都圏の環状道路網が完成し、市内から放射状に伸びる各有料道路と環状道路が結合したことにより、市内・市外からの交通量の拡散と市内の渋滞緩和に貢献している。

車輛の走行時間の短縮効果もあり、特に市南部から空港へのアクセスが大幅に改善した。

他方、交通量の急速な増加に伴い、南西アーケ道路北伸部の路面の一部に損傷が見られるが、原因として施工管理の問題や過積載車両の通行等が挙げられており、今後の維持管理に留意する必要がある。なお、維持管理財源となる通行料は、事業が完成した1996年に見直された以降据置かれて来たため、現在、インフレ率等を勘案した値上げが検討されている。